



にし やま なお き
西山 尚希

生 年 月 1982年11月岡山県生まれ
最終学歴 2007年名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻

業務経歴 2007年(株)安井建築設計事務所入社/現在、大阪事務所設計部主任

●担当した主なプロジェクト

- 2008年 JR西日本あいウィル
- 2009年 トラスコ中山宇都宮営業所・新潟北営業所・福山支店
- 2012年 白鶴酒造灘魚崎浜工場
- 2015年 トラスコ中山プラネット大阪積水化学タイCPVC計画
- 2016年 トラスコ中山郡山支店
- 2018年 二葉の里プロジェクト複合棟(現在施工中)
那覇空港際内連結ターミナル(現在施工中)

●受賞

- JR西日本あいウィル
日経ニューオフィス賞近畿ニューオフィス奨励賞
- トラスコ中山プラネット大阪
第16回堺市景観賞

■青年技術者のことば

『タイトルのつく建物』

建物をつくることは、建築主の要望・条件や周辺状況等、目の前に見えるものを上手に整えるだけではありません。整理しつつ、絶えずテーマをもって空間や仕掛けをつくることで、プラスαの価値を見出すことを目指します。

これは、建物規模の大小や用途等の与件に関係なく、設計者自身の意識や熱意によって成り立っています。また、プロジェクトを共に進めていく建築主や協働するメンバーとの対話の中からも、創りあげていくものです。

テーマの具現化を追及・実現していくと、自然とその建物にタイトルがつくと考えています。「タイトルのつく建物」を目指して、これからも設計活動をしていきたいと思えます。

■すいせん者

小林直紀

(株)安井建築設計事務所
執行役員 大阪事務所副所長
兼 大阪設計部長



トラスコ中山プラネット大阪 「ものづくり工房」

従業員が働きながら創意工夫を生み出す「工房のような建物」をコンセプトとした。凹凸のある外装ディテール、内部空間の漆喰壁やアルミキャストのルーバー、材料選定や手づくり感などで工房にある特有のクラフト感を表現した。



那覇空港際内連結ターミナル施設 「新しい沖縄の玄関口」

国際線旅客の増加に伴い、既存の国内船・国際線ターミナルの間に計画し、各々の機能拡充を図るものである。沖縄の新たな玄関口として、厳しい自然環境に配慮した大屋根、軒や凹凸による影のつくり方、琉球石灰岩の活用による構成とした。